

# しずないの アイヌゴ



財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

## このテキストについて

当財団では、2010年度にアイヌ語千歳方言、美幌方言、幌別方言の教科書を作成しました。2011年度は、前年度に作成された教科書を踏襲しつつ改良を加え、静内方言、釧路・白糠方言、十勝方言の教科書を新たに作成しました。

### 編集方針

このテキストは、アイヌ語の基本的な表現を聞き、口にするを通じて、アイヌ語に親しむことを目的に編集しました。文法解説にはあまり踏み込まず、1年を通しての暮らしの中で、子供たちが実際に使えるような表現を掲載してあります。4月から始まっていますが、各月が独立していますので、どの月からも始めることができます。教室では、あまり細かな解説はせず、例文を繰り返して聞き、発音することでフレーズを覚えてしまうことが最初の目標になります。例文を覚えた後は、練習問題に取り組むことによって応用ができるようになることを目指しましょう。

アイヌ語にはさまざまな方言があり、生活習慣も地域によって多少違います。そうした他地域の言葉・文化に関心を持ち、自分の地域についてもよく知るきっかけとなるよう、必要に応じて他方言についても解説しています。

本文に加え、伝統的な歌や言葉遊び、よく知られた童謡のアイヌ語訳を掲載しています。副教材としてカルタも添え、さまざまな角度から、楽しみながら言葉を身につけられるようにしています。

### 例文と単語について

本書『しずないのアイヌご』の本編の例文と単語は、静内郡静内町に在住された織田ステノ氏(1901頃-1993)、葛野辰次郎氏(1910-2002)、新ひだか町静内在住の狩野義美氏(1933-)から、執筆者の一人である志賀がご教示いただいた内容と、白老町のアイヌ民族博物館所蔵の織田氏の音声資料(主に岡田路明氏採録)に基づき構成されています。ただし、一部の例文については、このテキストの編集方針に合わせて、単語の組合せの変更をおこなっています。また、各ページで説明したい内容を盛り込むために、短く単純な言いまわしにしてあります。

### 音声について

アイヌ語の発音は日本語と異なっており、特に難しいところは、音声を聞きながら学習する必要があります。この本を教室等で利用するほか、家庭でも利用できるように、例文や単語、言葉あそび、歌などの音声を収録しました。収録に協力して下さったのは、普段は日本語で生活し、アイヌ語は学習によって身につけた方々です。一般に言葉を学ぶときには、もともとその言葉を使っている方から

教わるのがよいとされており、これはアイヌ語においても同じことがいえます。しかし、そうしたアイヌ語の発音に触れる機会が少ない中で、最初の手がかりになればという考えから、音声を用意しました。

### 文化的事項について

本書はアイヌ語の教科書ですが、アイヌ文化に関する解説をしたコラムを挿入しています。これには三つの理由があります。アイヌ語話者の発話の中には、文化的な背景の説明を要する語彙が含まれていることがあります。また、本書を用いて学習する方の中には、かつての生活習慣について、あわせて学びたいという方も少なくないと考えられます。そして、言葉の学び方は一つではなく、文化的な文脈の中に位置づけて、時には体験もまじえて習得することが効果を生むことも考えられます。こうした理由からアイヌ文化についての解説も行うことにしました。

この本を通じてアイヌ語に関心を持たれた方は、『初級編』や『中級編』に進んでみてください。さらに学習を進めたい方は、これまでに出版されたより専門的な解説書や視聴覚教材を参照されることをおすすめします。

この本を作る過程で多くの方にご指導を頂きました。記してお礼申し上げます。

### 【例文・単語】

志賀雪湖(静内方言)、高橋靖以(十勝方言)、田村雅史(釧路・白糠方言)

### 【練習問題・クロスワードパズル】

八谷麻衣

### 【コラム・歌】

北原次郎太、八谷麻衣

### 【本書イラスト】

小笠原小夜、椎名庵

### 【音声収録(五十音順)】

加納ルミ子、豊川容子、中井貴規、八谷麻衣、山道ヒビキ、山道陽輪、

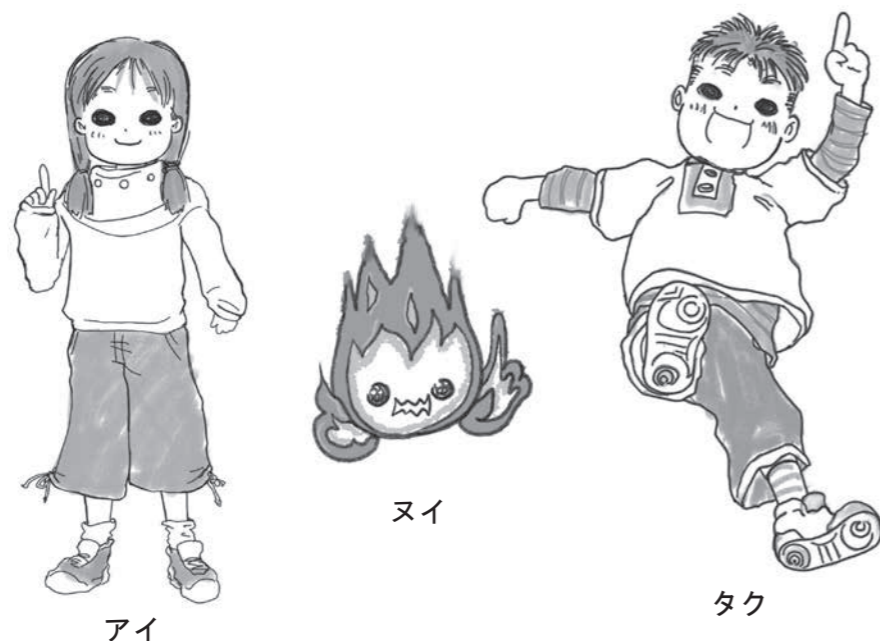
山本りえ

### 【副教材(カルタ)イラスト】

小笠原小夜

はじめに

こんにちは、アイです。ヌイです。タクです。



アイ：タク君、この本で一緒にアイヌ語を勉強しようね。

タク：勉強？ ぼく勉強は苦手だなあ。

ヌイ：でもタク君、アイヌ語に興味があるんでしょう？

タク：うん、どんな言葉なのか、ちょっとだけ知りたいなあとおもって。アイちゃんは？

アイ：私は、アイヌ語を話せるのってカッコイイかなって思うのと、アイヌ語で日記とか書いてみたい。「今日の晩ごはんはとってもおいしかったです。だけど、お手伝いをしなかったので、お母さんにしかられました、マル」とかね。

タク：へえ～。この本で勉強したら、アイヌ語で日記が書けるようになるの？

アイ：ううん、そうじゃないの。この本は、タク君みたいにちょっとだけ知りたい人向き。だから、あんまりむずかしい説明はなくて、アイヌ語をそのまま覚えて口に出してみましよう、ということをめざしているみたい。私は、この本が終わったら、次は『初級編』、『中級編』に進んでいくつもり。

タク：それならば、『初級編』までいくかどうか自信がないけど、まずはこの本を見ってみることにするよ。でも、他にもやりたいことがいろいろあるし、きっと1カ月に何回かしか使わないよ。

ヌイ：そのくらいでもいいんじゃない？この本は、最初から読んでいって、だんだんむずかしくなるっていうんじゃないかと、どこから読みはじめてもいいみたい。歌ものってるし。

タク：他のところは飛ばして、歌のところだけ見ようかな？

アイ：私は春から使い始めてほしい1カ月にひとつずつ読もうとおもってるの。今年のクリスマスには「ジングルベル」をアイヌ語で歌うつもり。一緒に歌う？

タク：じゃあ僕もアイちゃんと一緒にこれで勉強しようっと。来年は、アイヌ語でアニメソングを歌いたいな。

もく じ  
目 次

4月 <sup>がつ</sup> みんなで遊ぼう <sup>あそ</sup> ..... 10
5月 <sup>がつ</sup> 楽しい山菜とり <sup>たの</sup> <sup>さんさい</sup> ..... 12
♪うたってみよう(1)～森のくまさん～♪ <sup>もり</sup> ..... 14
6月 <sup>がつ</sup> 走るのが速いね <sup>はし</sup> <sup>はや</sup> ..... 16
7月 <sup>がつ</sup> 海へ行こうよ <sup>うみ</sup> <sup>い</sup> ..... 18
♪うたってみよう(2)～かぞえうた～♪ ..... 20
♪8月 <sup>がつ</sup> 先祖を大切に <sup>せんぞ</sup> <sup>たいせつ</sup> ..... 22
9月 <sup>がつ</sup> おいしいものがいっぱい ..... 24
♪うたってみよう(3)～しずないのことば・うた～♪ ..... 26

10月 <sup>がつ</sup> 冬が来る前に <sup>ふゆ</sup> <sup>く</sup> <sup>まえ</sup> ..... 28
11月 <sup>がつ</sup> 針と糸をもって <sup>はり</sup> <sup>いと</sup> ..... 30
♪うたってみよう(4)～ジングルベル・きよしこの夜～♪ <sup>よる</sup> ..... 32
12月 <sup>がつ</sup> 今日も寒いねえ <sup>きょう</sup> <sup>さむ</sup> ..... 34
1月 <sup>がつ</sup> お祭りの準備 <sup>まつ</sup> <sup>じゅんび</sup> ..... 36
♪うたってみよう(5)～からだのうた (しずかなこはん)～♪ <sup>からだのうた</sup> ..... 38
2月 <sup>がつ</sup> カムイに感謝をする <sup>かんしゃ</sup> ..... 40
3月 <sup>がつ</sup> 子グマを授かる <sup>こ</sup> <sup>さず</sup> ..... 42



アイヌ語(北海道方言)の音節(カタカナ表記)

アイヌ語(北海道方言)の音節(ローマ字表記)

【母音】

ア イ ウ エ オ

【子音+母音】

カ	キシ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ		トウ	テ	ト
チャ	チ	チュ/ツ	チェ	チヨ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
パ	ピ	プ	ペ	ポ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ	イ	ユ	イエ	ヨ
ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ		ウ	ウエ	ウオ

【母音+子音】

アク	イク	ウク	エク	オク
アシ(アス)	イシ(イス)	ウシ(ウス)	エシ(エス)	オシ(オス)
アツ	イツ	ウツ	エツ	オツ
アン	イン	ウン	エン	オン
アブ	イブ	ウブ	エブ	オブ
アム	イム	ウム	エム	オム
アイ		ウイ	エイ	オイ
アラ(アル)	イリ(イル)	ウル	エレ(エル)	オロ(オル)
アウ			エウ	オウ

【子音(例としてカ行の音)+母音+子音】

カク	キク	クク	ケク	コク
カシ(カス)	キシ(キス)	クシ(クス)	ケシ(ケス)	コシ(コス)
カツ	キツ	クツ	ケツ	コツ
カン	キン	クン	ケン	コン
カブ	キブ	クブ	ケブ	コブ
カム	キム	クム	ケム	コム
カイ		クイ	ケイ	コイ
カラ(カル)	キリ(キル)	クル	ケレ(ケル)	コロ(コル)
カウ	キウ		ケウ	コウ

\* ( )で示した音節は、単語によって固定されていたり、実際の発音を聞くと、同じ単語でも二通りの発音が聞かれる音節です。

\* 例文の中で、前後の音によって発音に変化する場合、その発音を下線で示しました。

【母音】

a i u e o

【子音+母音】

ka	ki	ku	ke	ko
sa	si	su	se	so
ta		tu	te	to
ca	ci	cu	ce	co
na	ni	nu	ne	no
ha	hi	hu	he	ho
pa	pi	pu	pe	po
ma	mi	mu	me	mo
ya	yi	yu	ye	yo
ra	ri	ru	re	ro
wa		wu	we	wo

【母音+子音】

ak	ik	uk	ek	ok
as	is	us	es	os
at	it	ut	et	ot
an	in	un	en	on
ap	ip	up	ep	op
am	im	um	em	om
ay		uy	ey	oy
ar	ir	ur	er	or
aw	iw		ew	ow

【子音(例としてK)+母音+子音】

kak	kik	kuk	kek	kok
kas	kis	kus	kes	kos
kat	kit	kut	ket	kot
kan	kin	kun	ken	kon
kap	kip	kup	kep	kop
kam	kim	kum	kem	kom
kay		kuy	key	koy
kar	kir	kur	ker	kor
kaw	kiw		kew	kow

がつ 4月 みんなで遊ぶ

フクジュソウの花の咲く春は、新しい仲間や友だちに出会うことが多い季節です。  
 みんなでアイヌ語を勉強しましょう。

ハポ トウラ エエク ルウェ エンタ アナ？  
 hapo tura e=ek ruwe enta an ya?  
 お母さん とともに あなたが・来る の こそ ある か  
 「お母さんと一緒に来たの？」

\*アン ヤ「あるか」は、ひとまとまりに発音してアナとなります。

ハポ トウラ クエク ワ。  
 hapo tura ku=ek wa.  
 お母さん とともに 私が・来る よ  
 「お母さんと一緒に来たんだ」

ヘタク アンコロ イタク アリ シノツチャキアン ナ。  
 hetak an=kor itak ari sinotcaki=an na.  
 さあ 私たちが・持つ 言葉 で 歌う・私たちが よ  
 「さあ、アイヌ語で歌いましょう」

クナウ ノンノ シピラサ ワ アン。  
 kunaw nonno sipirasa wa an.  
 フクジュソウ 花 咲く て ある  
 「フクジュソウの花が咲いている」



おぼ 覚えよう～季節をあらわす言葉～

パイカル	paykar	「春」
サク	sak	「夏」
サッケシ	sakkes	「秋」
マタ	mata	「冬」



れんしゅう 練習

ハポ トウラ クエク ワ。  
 hapo tura ku=ek wa.  
 お母さん とともに 私が・来る よ  
 「お母さんと一緒に来たんだ」

「お母さん」の部分<sup>ぶぶん</sup>を他の人<sup>ほか</sup>に置き換えて<sup>お</sup>言<sup>か</sup>ってみま<sup>い</sup>しょう。

ミチ mici 「お父さん」  
 エカシ ekasi 「おじいさん」  
 フチ huci 「おばあさん」

れんしゅう 練習

シノツチャキアン ナ。  
 sinotcaki=an na.  
 歌う・私たちが よ  
 「歌いましょう」

「歌う」の部分<sup>ぶぶん</sup>を他の言葉<sup>ほか</sup>に置き換えて<sup>お</sup>「～しま<sup>い</sup>しょう」と言<sup>か</sup>ってみま<sup>い</sup>しょう。

シノツアン sinot=an 「私たちが遊ぶ」  
 ホシッパン hosippa=an 「私たちが帰る」  
 パイエアン paye=an 「私たちが行く」  
 イペアン ipe=an 「私たちが食事する」  
 ホユッパン hoyuppa=an 「私たちが走る」



がつ たの さんさい  
5月 楽しい山菜とり

おそ ゆき お やまやま すこ みどり さんさい しょくたく  
遅い雪どけが終わった山々に少しずつ緑がめばえてくると、やがて山菜が食卓をにぎ  
わす季節になります。アイヌ語を声に出しながら自然の恵みをいただきましょう。

キナカラアン クス パイエアン ロ。  
kinakar=an kus paye=an ro.  
さんさい わたし い わたし  
山菜をとる・私たちが ために 行く・私たちが しよう

「山菜とりに行きましょう」

アハ アタ ナ。  
aha a=ta na.  
ヤブマメ わたし ほ  
私たちが・掘る よ  
「ヤブマメを掘ろうよ」

クアッカシ カ エトランネ。  
ku=apkas ka etoranne.  
わたし ある いや  
私が・歩く も 嫌がる  
「歩きたくない」

マカヨ ポロンノ アン ナ。  
makayo poronno an na.  
フキノトウ たくさん ある よ  
「フキノトウがたくさんあるよ」



おほ 覚えよう～春の山菜～

プクサ	pukusa	「ギョウジャンニク」
プクサキナ	pukusakina	「ニリンソウ」
チマキナ	cimakina	「ウド」
コルコニ	korkoni	「フキ」

れんしゅう 練習

クアッカシ カ エトランネ。  
ku=apkas ka etoranne.  
わたし ある いや  
私が・歩く も 嫌がる  
「歩きたくない」

わたし ある ぶぶん ほか ことば お か  
「私が歩く」の部分<sup>ぶぶん</sup>を他の言葉に置き換えて「～したくない」と言ってみましょう。

クモンライケ ku=monrayke わたし しごと  
「私が仕事をする」  
クイカスイ ku=ikasuy わたし てつだ  
「私が手伝いをする」  
クホユプ ku=hoyupu わたし ほん  
「私が走る」

れんしゅう 練習

マカヨ ポロンノ アン ナ。  
makayo poronno an na.  
フキノトウ たくさん ある よ  
「フキノトウがたくさんあるよ」

ぶぶん うえ ほか さんさい お か  
「フキノトウ」の部分<sup>ぶぶん</sup>を上<sup>うえ</sup>にあげた他の山菜<sup>ほか さんさい</sup>に置き換えて「～がたくさんあるよ」と言ってみましょう。



♪うたってみよう (1)～<sup>もり</sup>森のくまさん～♪

♪ シネアントタ ニタイ トウムタ キムンカムイ クヌカラ  
 sine an to ta nitay tum ta kimunkamuy ku=nukar  
 あるひ もりのなか くまさんに であった

♪ ルサム タノンノ ヘチラシパ キムンカムイ クヌカラ  
 ru sam ta nonno heciraspa kimunkamuy ku=nukar  
 はなさくもりのみち くまさんにであった

♪ キムンカムイ エネイタキ ポン メノコ ホクレ キラ  
 kimunkamuy ene itak hi pon menoko hokure kira  
 くまさんは こういった おじょうさん さあにげて

♪ すたこらさっさっさのさ すたこらさっさっさのさ

♪ ネコロカイ キムンカムイ エノシ ホユプワエク  
 ne korkay kimunkamuy en=os hoyupu wa ek  
 ところが くまさんが あとから ついてくる

♪ トコトコ トッコトッコト トコトコ トッコトッコト



♪ ポン メノコ エネチウカ ネプカイ エハチレ  
 pon menoko en=eciwka nep kay e=hacire  
 おじょうさん おまちなさい なにか おとしたよ

♪ レタラセイ アネカラ ポンポン キサルンペ  
 retar sey an=ekar pon pon kisarunpe  
 しろいかいで つくった ちいさな イヤリング

♪ キムンカムイ イヤイライケレ ウトウラノ リムセアンノ  
 kimunkamuy iyayraykere uturano rimse=an no  
 くまさん ありがとう いっしょに おどりましょう

♪ ラララ ラララララ ラララ ラララララ



\* ♪ある～ひ、もりのなか～で始まる「森のくまさん」に、アイヌ語をつけてみました。  
 \* アイヌ語の歌詞は、もとの歌詞の直訳ではありません。  
 \* 歌詞に使われているアイヌ語は、<sup>うらかわちほう</sup>浦河地方の言葉が中心となっています。  
 (アイヌ語訳:平成22年度イオル事業・アイヌ文化伝承者育成事業 <sup>こうし</sup>講師・<sup>じゆこうしゃ</sup>受講者の皆さん)

6月 走るのが速いね

運動会のシーズンです。かけっこ、玉入れ、つな引き。

がんばっている友だちをおうえんしましょう。

エホユプ シリ トウナシ。

e=hoyupu siri tunas.

あなたが・走る 様子 すばやい

「君は走るのが速いね」

タマ アピシキ ナ。

tama a=piski na.

玉 私たちが・数える よ

「玉を数えますよお」

ホクレ ウエカルパ ヤン。

hokure uekarpa yan.

さあ 集まる なさい

「さあ、集まれえ」

ホクレ アリキキ ヤン。

hokure arikiki yan.

さあ がんばる なさい

「さあ、がんばれえ」



覚えよう～色をあらわす言葉～

レタル	retar	「白 (い)」
クンネ	kunne	「黒 (い)」
フレ	hure	「赤 (い)」

練習

アイヌ語で10までの数の数え方を覚えましょう。

物を数える言い方			人を数える言い方		
1個	シネッ	sinep	1人	シネン	sinen
2個	トゥッ	tup	2人	トゥン	tun
3個	レッ	rep	3人	レン	ren
4個	イネッ	inep	4人	イネン	inen
5個	アシクネッ	asiknep	5人	アシクネン	asiknen
6個	イワンペ	iwanpe	6人	イワニウ	iwaniw
7個	アルワンペ	arwanpe	7人	アルワニウ	arwaniw
8個	トゥペサンペ	tupesampe	8人	トゥペサニウ	tupesaniw
9個	シネペサンペ	sinepesampe	9人	シネペサニウ	sinepesaniw
10個	ワンペ	wanpe	10人	ワニウ	waniw

\* 5個から9個までは、短い言い方もあります。それについては初級で勉強しましょう。

目はいくつ？ 足の指はいくつ？  
身のまわりにある物や数を数えてみましょう。

兄弟は何人？  
身のまわりにいる人の数を数えてみましょう。



7月 海へ行こうよ

かいすいよく かわあそ はま べ あそ ふね の  
海水浴に川遊び。浜辺で遊んだり舟に乗ったり。アイヌ語を声に出しながら、楽しい  
なつ す  
夏を過ごしましょう。

タント シルセセク フミ。

tanto sirsesek humi.

きょう あつ かん  
今日 暑い 感じ

「今日は暑いね」

エписン エントウラ ヤン。

episun en=tura yan.

はま ほう わたし つ  
浜の方へ 私を・連れる なさい

「浜へ私を連れて行って」

ピシ タ サツアン マ シノツアン ロ。

pis ta sap=an wa sinot=an ro.

はま に くだ わたし が て あそ わたし が しょう  
浜 に 下る 私たちが て 遊ぶ 私たちが しょう

「浜に行って遊びましょう」

\*ワ「て」はアンのあとでは、マという発音にかかります。

ヤム マツカ クク ルスイ。

yam wakka ku=ku rusuy.

つめ みず わたし の  
冷たい 水 私が・飲む したい

「冷たい水が飲みたい」

\*ワッカ「水」は、ヤムのあとでは、マッカという発音にかかります。

\*ナム マッカ nam wakka 「冷たい水」という言い方もあります。



おほ 覚えよう～あつ さむ さむさのことば～

シルセセク	sirsesek	「暑い」
シルポツケ	sirpopke	「暖かい」
シルメマン	sirmeman	「すずしい」
メアン	mean	「寒い」

れんしゅう 練習

タント シルセセク フミ。

tanto sirsesek humi.

きょう あつ かん  
今日 暑い 感じ

「今日は暑いね」

「暑い」の部分<sup>あつ</sup>を他の言葉<sup>ぶぶん</sup>に置き換えて<sup>ほか</sup>言ってみよう<sup>ことば</sup>。

れんしゅう 練習

ヤム マツカ クク ルスイ。

yam wakka ku=ku rusuy.

つめ みず わたし の  
冷たい 水 私が・飲む したい

「冷たい水が飲みたい」

「冷たい水」の部分<sup>つめ</sup>を好きな飲み物<sup>ぶぶん</sup>に置き換えて<sup>す</sup>「～を飲みたい」と言ってみよう<sup>の</sup>。

トノト tonoto 「お酒」

ウセイ usey 「お湯」

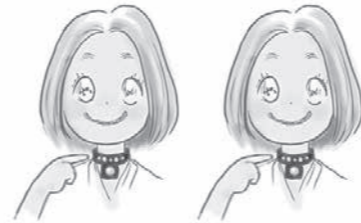


♪うたってみよう(2)～かぞえうた～♪

♪ シネ トウレブ  
sine turep  
1つの ウバユリ



♪ トウ レクトウンペ  
tu rektunpe  
2つの くびかざり



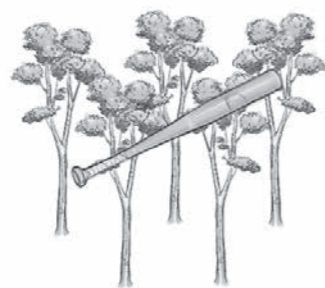
♪ レ イナウル  
re inawru  
3つの けずりかけ



♪ イネ アッケテク  
ine akketek  
4つの ほたて



♪ アシクネ イワニ  
asikne iwani  
5つの アオダモ

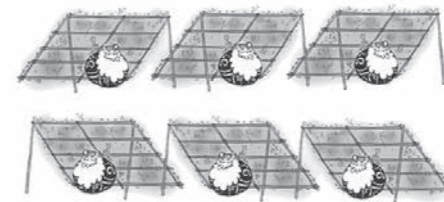


♪ アイヌ イタカニ  
aynu itak ani  
アイヌごで

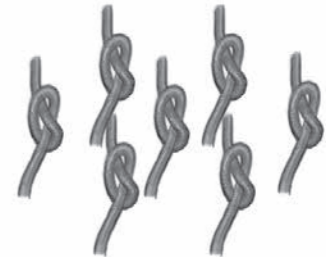
♪ イピシキ キヤナニ  
ipiski ki yan ani  
かずを かぞえてね



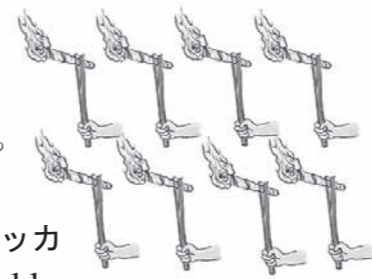
♪ イワン アラクシ  
iwan arkas  
6つの かたごや



♪ アラワン トウペプ  
arwan tupep  
7つの むすびめ



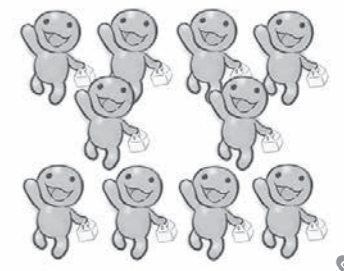
♪ トウペサン スネ  
tupesan sune  
8つの たいまつ



♪ シネペサン ワンパッカ  
sinepesan wampakka  
9つの てぶくろ



♪ ワン シネウエクル  
wan sinewekur  
10にんの おきゃくさん



♪ アイヌ イタカニ  
aynu itak ani  
アイヌごで

♪ シノツチャキアン ロク  
sinotcaki=an rok  
みんなでうたって みよう

\* ひ～とり、ふ～たり、さんにん いるよ、よ～にん、ご～にん、ろくにん いるよ  
で知られている「10人のインディアン」に、アイヌ語をつけてみました。  
\* 歌詞に使われているアイヌ語は、美幌地方の言葉が中心となっています。  
(アイヌ語詞：北原次郎太)

がつ せんぞ たいせつ  
8月 先祖を大切に

いの そな ほん  
お祈りとお供えはいつしてもよいのですが、お盆にあわせておこなうこともよくあります。ご先祖のことをまわりの人に聞いてみましょう。

シンリッ アイヌコロ クキ ナ。  
sinrit aynukor ku=ki na.  
せんぞ だいじ わたし  
先祖 大事にする 私が・する よ  
「先祖を敬いますよ」

オンカミアン ナ。  
onkami=an na.  
はいれい わたし  
拝礼する・私たちが よ  
「拝礼しますよ」

シンリッ アコイチャルパ。  
sinrit a=koicarpa.  
せんぞ わたし くよう  
先祖 私たちが・供養する  
「先祖を供養します」

クポニ タ フチ ウウェペケル イェ ワ エンヌレ。  
ku=pon hi ta huci uwepeker ye wa en=nure.  
わたし ちい とき におばあさん さんぶんせつわ いう て わたし き  
私が・小さい とき におばあさん 散文説話 言う て 私に・聞かせる  
「僕が小さい頃、おばあちゃんがウウェペケルを語って聞かせてくれました」  
\*クポン ヒ「私が小さいとき」は、ひと はつおん  
はつおん



おぼ 覚えよう～おじいさんやおばあさん～

エカシ	ekasi	「おじいさん」
フチ	huci	「おばあさん」
アチャポ	acapo	「おじさん」
ウナルペ	unarpe	「おばさん」



れんしゅう 練習

クポニ タ フチ ウウェペケル イェ ワ エンヌレ。  
ku=pon hi ta huci uwepeker ye wa en=nure.  
わたし ちい とき におばあさん さんぶんせつわ いう て わたし き  
私が・小さい とき におばあさん 散文説話 言う て 私に・聞かせる  
「僕が小さい頃、おばあちゃんがウウェペケルを語って聞かせてくれた」

「ウウェペケル」の部分ぶぶんを、ほかの言葉ことばに置き換えて言ってみましょう。

「ユカル」「ウポポ」「イフンケ」「カムイユカル」

ウウェペケル uwepeker…おもに、人間にんげんが主人公しゅじんこうのお話。  
カムイユカル kamuyyukar…おもに、神様かみさまが主人公しゅじんこうのお話。  
歌うたのようにメロディうたにのせて歌う。

ユカル yukar…おもに、少年英雄しょうねんえいゆうが主人公しゅじんこうのお話。歌うたのようにメロディうたにのせて語る。  
ウポポ upopo…短い歌詞みじかの歌うたを輪唱りんしょうなどで歌う歌。  
イフンケ ihunke…子守歌こもりうた。



かいせつ せんぞ そな  
解説～ご先祖さまへのお供え～

- 8月がつになるとお墓参りはかまいをする人ひとが大勢おおぜいいますね。お墓参りはかまいをして、亡なくなった人ひとにきれいな
- お花はなや食べ物ものをお供えそなして楽しんでもらいます。
- アイヌの暮らしくらしでは、お墓はかに行かず家いえの近くちかでお供えそなをする方が多おほかったです。お花はな
- ではなく木きで作つくったイナウい(御幣状ごへいじょうのもの)、お団子だんごやお菓子かしやお酒さけ、たばこたばこ、亡なくなった人ひと
- が好すきだったものをお供えそなします。
- 亡なくなった人ひとたちは、あの世よで暮くらしているの、火ひの神様かみさまに「お供え物そなを届とどけてください」
- とお願ねがいします。それから、亡なくなった人ひとの名前なまえを言いって、自分じぶんの名前なまえも言いながら「これを
- お供えそなします」といってお供えそなをします。食べ物ものはみんなちぎって地面じめんにまきます。飲み物ものも地
- 面めんにまきます。そうすると、食べ物もののいのちが、亡なくなった人ひとのところに届とどくといわれています。

がっ  
9月 おいしいものがいっぱい

あき 秋になると、やま 山の幸、うみ 海の幸、おいしいものがいっぱいです。とく 特にサケは大事な食べ物で、いろ 色々な料理になります。

クイペルスイ ナ。

ku=iperusuy na.

わたし くうぶく  
私が・空腹である よ

「お腹がすいたよ」

チポル オ イモ ラタシケプ エ ヤン。

cipor o imo rataskep e yan.

すじこ はい ジャガイモ ま にりょうり た  
筋子 入る ジャガイモ 混ぜ煮料理 食べる なさい

「筋子をまぶしたジャガイモを食べなさい」

ヒンナ。 ケラアン フミ。

hinna. keraan humi.

いただきます おいしい 感じ

「いただきます。おいしいな」

カルシ アカル クス パイエアン ロ。

karus a=kar kus paye=an ro.

キノコ わたし と 私たちが・採る ために 行く・私たちが しよう

「キノコを採りに行こう」



おぼ 覚えよう～さかなに かん に関する ことば 言葉～

カムイチェブ kamuycep 「サケ」

イチャニウ icaniw 「マス」

スポン supun 「ウグイ」

エレクス erekus 「タラ」



れんしゅう 練習

チポル オ イモ ラタシケプ エ ヤン。

cipor o imo rataskep e yan.

すじこ はい ジャガイモ ま にりょうり た  
筋子 入る ジャガイモ 混ぜ煮料理 食べる なさい

「筋子をまぶしたジャガイモを食べなさい」

すじこ 「筋子をまぶしたジャガイモ」の部分を他の食べ物に置き換えて「～を食べなさい」と言ってみましょう。

コンプ シト kompu sito 「昆布だれ団子」

チェブ オハウ cep ohaw 「魚のおつゆ」

チタタプ citatap 「生の氷頭と白子のたたき料理」

れんしゅう 練習

カルシ アカラ クス パイエアン ロ。

karus a=kar kus paye=an ro.

キノコ わたし と 私たちが・採る ために 行く・私たちが しよう

「キノコを採りに行こう」

「キノコを採る」の部分を他の言い方に置き換えて言ってみましょう。

ウウエケンヌアン uwepekennu=an 「私たちが尋ねる」

シニアン sini=an 「私たちが休む」

イフライエアン ihuraye=an 「私たちが洗濯する」



♪うたってみよう (3)～しずないのことば・うた～♪

♪ 「トイタ サオウツ ノチュウ オルスペ」 <sup>はたけ</sup> 島たがやす <sup>に</sup> ときに <sup>ほし</sup> 逃げる <sup>はなし</sup> 星の話

♪ トイタ アンロウー トイタ アンロウ。

<sup>はたけ</sup> 島 たがやそう <sup>はたけ</sup> 島 たがやそう。

♪ トイタ アンキ ヤクン テツ トイ ウス ネ。

<sup>はたけ</sup> 島 たがやす <sup>て</sup> なら <sup>つち</sup> 手に土つくわ。

♪ テツ トイ ウス キヤクン ヤシケ アンキ ネ。

<sup>て</sup> 手に土つく <sup>せんめん</sup> ならば <sup>いた</sup> 洗面 致しましう。

♪ ヤシケ アンキ ヤクン モウム アンキ ネ。

<sup>せんめん</sup> 洗面 致します <sup>なが</sup> なら <sup>いた</sup> 流れ 致します よ。

♪ モウム アンキ ヤクン ペウツ チャ ウス キナ アヤイペカネ。

<sup>なが</sup> 流れます <sup>かわ</sup> なら <sup>ぎし</sup> 川岸に <sup>は</sup> 生える <sup>くさ</sup> 草に すぎりましう。

♪ テツ ツエ キヤクン アンシナ キワ。

<sup>て</sup> 手 切れます <sup>き</sup> なら <sup>ほう</sup> たい しましう。

♪ アンシナ キヤクン タシロ コル キワ アタウケ ワ。

<sup>ほう</sup> たい 致す <sup>いた</sup> なら <sup>やまがたな</sup> 山刀 <sup>き</sup> もって 切ったぎる わ。



<sup>かみ</sup> 神さまの <sup>じだい</sup> 時代に、<sup>かみ</sup> 神さまたちの <sup>むすめはちにん</sup> 娘八人が、<sup>はたけ</sup> 畑を <sup>い</sup> たがやすのを <sup>き</sup> きらって、<sup>い</sup> こんなことを <sup>い</sup> 言ったら、<sup>かみ</sup> 神様達が <sup>おこ</sup> 怒って、「<sup>そら</sup> 空にはりつけるから <sup>はたけ</sup> 畑を <sup>しき</sup> たがやす時期に、<sup>で</sup> 出てくるな」と <sup>い</sup> 言ったという <sup>ないよう</sup> 内容の <sup>うた</sup> 歌です。

※「<sup>はたけ</sup> 島たがやす <sup>に</sup> ときに <sup>ほし</sup> 逃げる <sup>はなし</sup> 星の話』<sup>かみ</sup> 神の <sup>かた</sup> 語り <sup>かみ</sup> 神 <sup>はなし</sup> 互いに <sup>い</sup> 話しあう』(オホーツク文化資料館、1983年)

※このページの表記法は <sup>ひょうきほう</sup> 葛野 <sup>くすの</sup> 辰次郎 <sup>ひょうきほう</sup> さんの <sup>ひょうきほう</sup> 表記法 <sup>もと</sup> に <sup>も</sup> 基づいて <sup>い</sup> います。

10月 冬が来る前に

秋が深まって日の暮れるのが早くなっても、子どもたちは外で遊ぶのが好き。大人たちが少しずつ始める冬支度。アイヌ語で言ってみましょう。

ミチ サツチェブ ポロンノ ホク。  
 mici satcep poronno hok.  
 お父さん 干し魚 たくさん 買う  
 「お父さんは干し魚をたくさん買った」

ハポ カルシ サツケ。  
 hapo karus satke.  
 お母さん キノコ 乾かす  
 「お母さんはキノコを干した」

ソイ ペカ シノッアン ロ。  
 soy peka sinot=an ro.  
 外 で 遊ぶ・私たちが しよう  
 「そとで遊びましょう」

レラ ユプケ クス チセ オツ タ シノッアン ナ。  
 rera yupke kus cise or ta sinot=an na.  
 風 激しい ので 家で 遊ぶ・私たちが よ  
 「風が強いから家で遊ぼうよ」

\*オロ「のところ」は、タのまえでは、オツという発音にかかります。



覚えよう～天気に関する言葉～

ルヤンペ	ruyanpe	「雨」
レラ	rera	「風」
ウパシ	upas	「雪」
ペソシ	pesos	「みぞれ」
カウカウ	kawkaw	「あられ」



練習

ミチ サツチェブ ポロンノ ホク。  
 mici satcep poronno hok.  
 お父さん 干し魚 たくさん 買う  
 「お父さんは干し魚をたくさん買った」

「干し魚」の部分了他の物に置き換えて「父さんは～をたくさん買った」と言ってみましょう。

練習

レラ ユプケ クス チセ オツ タ シノッアン ナ。  
 rera yupke kus cise or ta sinot=an na.  
 風 激しい ので 家で 遊ぶ・私たちが よ  
 「風が強いから、家で遊ぼうよ」

「風が強い」の部分「雨が降る」「雪が降る」「みぞれが降る」「あられが降る」に置き換えて言ってみましょう。

ルヤンペ アシ	ruyanpe as	「雨が降る」
ウパシ アシ	upas as	「雪が降る」
ペソシ アシ	pesos as	「みぞれが降る」
カウカウ アシ	kawkaw as	「あられが降る」



11月 針と糸をもって

てづく み まわ  
手作りのものが身の回りにある、手間と時間をかけて作ったものを渡される、少し暖  
かな気分になります。アイヌ語で言ってみましょう。

ミチ アットウシ ミ。

mici attus mi.

ちちおや じゅひい き  
父親 樹皮衣 着る

「お父さんがアットウシを着る」

ハポ ケメイキ カネ アン。

hapo kemeyki kane an.

おはさん はりしごと  
お母さん 針仕事をする ながら いる

「お母さんは針仕事をしている」

タアン アミプ クコロ ペ ネ ナ。

taan amip ku=kor pe ne na.

この きもの わたし も  
着物 私が持つ もの である よ

「この着物は私のものだよ」

サポ カエカ ワ アシケペチ アルカ。

sapo kaeka wa askepeci arka.

ねえ いと  
姉さん 糸よりする て 手の指 痛い

「姉さんは糸よりをして手の指が痛くなった」



覚えよう～針仕事の言葉～

ケム	kem	「針」
カ	ka	「編み糸」
ヌイト	nuyto	「縫い糸」
カタク	katak	「糸玉」

練習

タアン アミプ クコロ ペ ネ ナ。

taan amip ku=kor pe ne na.

この きもの わたし も  
着物 私が持つ もの である よ

「この着物は私のものだよ」

「着物」の部分<sup>ぶぶん</sup>を他の言葉<sup>ほか</sup>に置き換えて<sup>おきか</sup>言ってみましょう。

コンチ konci 「帽子」

パスイ pasuy 「はし」

イタンキ itanki 「おわん」

練習

アシケペチ アルカ。

askepeci arka.

て ゆび いた  
手の指 痛い

「手の指が痛くなった」

「手の指」の部分<sup>ぶぶん</sup>を他の言葉<sup>ほか</sup>に置き換えて<sup>おきか</sup>「～が痛い<sup>いた</sup>」と言ってみましょう。

クパケ ku=pake 「私の頭」

クイマキ ku=imaki 「私の歯」

クレクチ ku=rekuci 「私の喉」

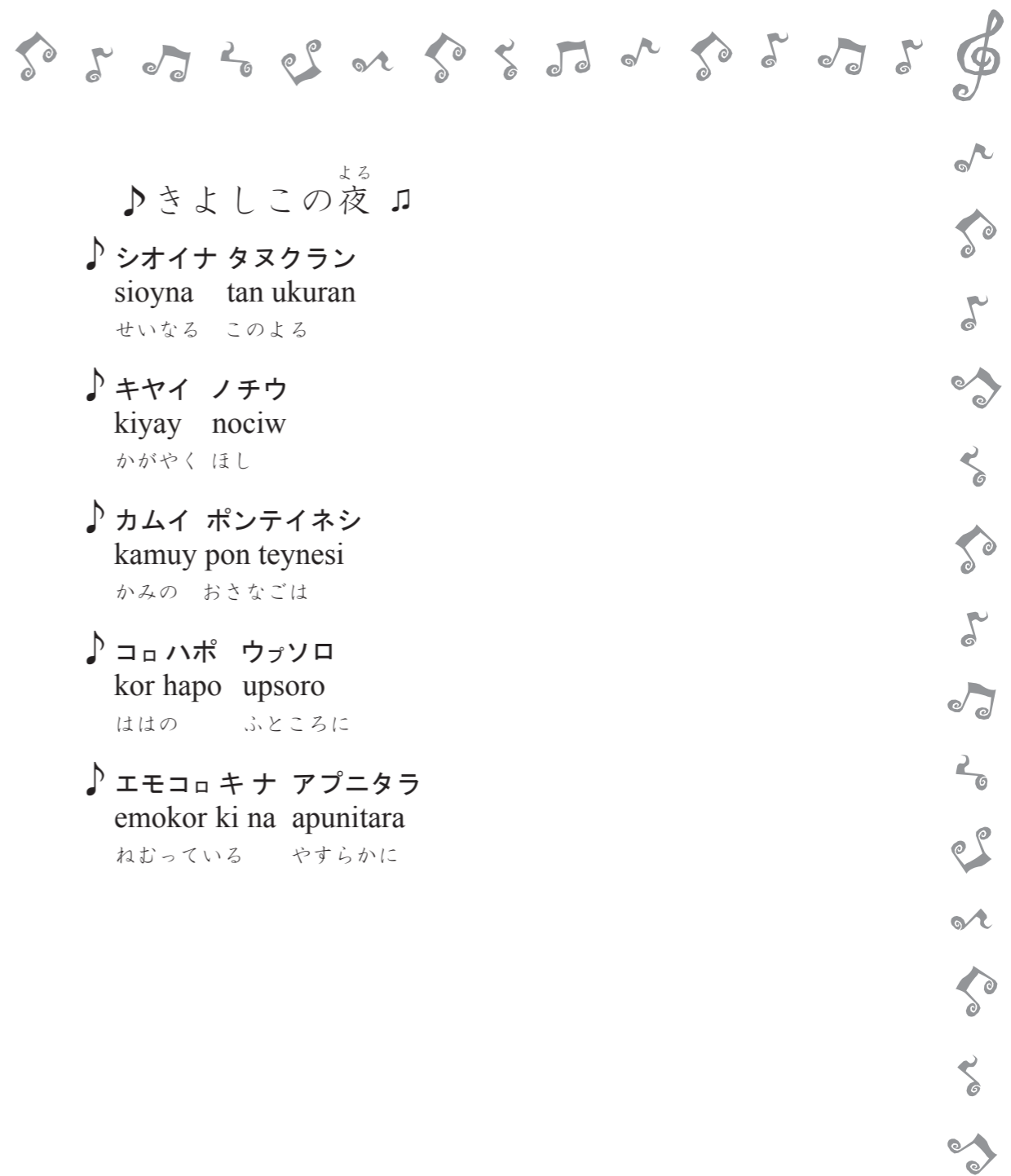
クホニ ku=honi 「私の腹」

クイッケウエ ku=ikkewe 「私の腰」



♪うたってみよう (4) ~ジングルベル・きよしこの夜~<sup>よる</sup>

- ♪ ジングルベル ♪
- ♪ ウパシポロ ヌソアオワ  
upas poro nuso a=o wa  
すごいゆきだ ソリにのって
- ♪ パイエアンロ ミナアン カネ  
paye=an ro mina=an kane  
でかけよう わらいながら
- ♪ ヌソエトコタ エトロチャラケ  
nuso etoko ta etor carke  
ソリのまえて すずがちりん
- ♪ アエケウトウムシノチタラ  
a=ekewtumusinocitara  
みんなのきもちもわくわくさ
- ♪ ジングルベルジングルベル トウヌニタラ  
ジングルベルジングルベル tununitara  
ジングルベルジングルベル すずがなる
- ♪ ヌソアエシノッ コロアエキロラン  
nuso a=esinot kor a=ekiroran  
ソリであそぶと めちゃたのし
- ♪ ジングルベルジングルベル トウヌニタラ  
ジングルベルジングルベル tununitara  
ジングルベルジングルベル すずがなる
- ♪ ヌソアエシノッ コロアエキロラン  
nuso a=esinot kor a=ekiroran  
ソリであそぶと めちゃたのし



- ♪ きよしこの夜<sup>よる</sup> ♪
- ♪ シオイナ タヌ克蘭  
sioyna tan ukuran  
せいなる このよる
- ♪ キヤイ ノチウ  
kiyay nociw  
かがやく ほし
- ♪ カムイ ポンテイネシ  
kamuy pon teynesi  
かみの おさなごは
- ♪ コロハポ ウアソロ  
kor hapo upsoro  
ははの ふとこるに
- ♪ エモコロキナ アプニタラ  
emokor ki na apunitara  
ねむっている やすらかに

\* クリスマクソングの定番である「ジングルベル」と「きよしこの夜<sup>よる</sup>」にアイヌ語をつけてみました。  
\* 歌詞に使われているアイヌ語は、幌別地方の言葉が中心となっています。  
(アイヌ語訳：平成22年度イオル事業・アイヌ文化伝承者育成事業 講師・受講者の皆さん)

がつ きょう さむ  
12月 今日も寒いねえ

寒い日が続きます。風邪をひかないように注意しながら、アイヌ語の勉強を続けま  
しょう。

ウパシ アシ ナ。

upas as na.

雪 降る よ

「雪が降ったよ」

クテケヘ カ ヤム。 クチキリヒ カ ヤム。

ku=tekehe ka yam. ku=cikirihi ka yam.

私の・手 も 冷たい 私の・足 も 冷たい

「手も冷たい。足も冷たい」

\*ナムnam「冷たい」という言い方もあります。

アペアレ ヤン。

apeare yan.

火をたく なさい

「火をたきなさい」

エシオ ヤ?

e=sio ya?

あなたが・風邪をひく か

「風邪をひいたの?」



ぬりえ

好きな色をぬってみましょう。アイヌ語の色をあらわす言葉も、あわせておぼえま  
しょう。

コンカニ konkani 「金」

クンネ kunne 「黒 (い)」

フレ hure 「赤 (い)」

フキナネ huginane 「若草色 (である)」



シロカニ sirokani 「銀」

レタル retar 「白 (い)」

シウニン siwnin 「青 (い)」

シウニン siwnin 「紫 (である)」

がっ まつ じゅんび  
1月 お祭りの準備

ふゆ まつ おとこ ひと じゅん び おんな ひと じゅん び  
冬にはお祭りがたくさんあります。男の人の準備、女の人の準備、どんなことをして  
いるのでしょうか。

アシリ パ アン ナ。

asir pa an na.

あたら とし  
新しい年 ある よ

「新しい年になりました」

オッカイ ウタラ イナウケ。 メノコ ウタラ トノト カル。

okkay utar inawke. menoko utar tonoto kar.

だんせい たち もくへい けず じょせい たち さけ つく  
男性 たち 木幣を削る 女性 たち 酒 作る

「男の人たちはイナウを削る」「女の人たちはお酒を仕込む」

イテッケ ウコイキ ヤン。

itekke ukoyki yan.

するな けんか 喧嘩をする なさい

「喧嘩をしてはいけません」

ポンノ エンカスイ ヤン。

ponno en=kasuy yan.

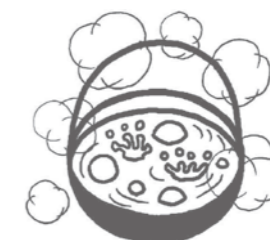
すこ わたし てつだ  
少し 私を・手伝う なさい

「少し手伝ってちょうだい」



おぼ 覚えよう～道具や料理の名前～

マキリ	makiri	こがたな 「小刀」
タシロ	tasiro	やまがたな 「山刀」
トウキ	tuki	しゆはい 「酒杯」
ラタスケプ	rataskep	ま にりょうり 「混ぜ煮料理」
オハウ	ohaw	ぐ 「具だくさんのおつゆ」



れんしゅう 練習

イテッケ ウコイキ ヤン。

itekke ukoyki yan.

するな けんか 喧嘩をする なさい

「喧嘩をしてはいけません」

「喧嘩をする」の部分<sup>けんか</sup>を他の言葉に置き換えて「～してはいけません」と言ってみましょう。



イララ irara 「いたずらをする」

シノツ sinot 「遊ぶ」

イオイラ ioyra 「物忘れする」

れんしゅう 練習

エンカスイ ヤン。

en=kasuy yan.

わたし てつだ  
私を手伝う なさい

「私を手伝ってちょうだい」















「手伝う」の部分<sup>てつだ</sup>を他の言葉に置き換えて「私を～してちょうだい」と言ってみましょう。













エンコシキル en=kosikiru 「私の方を振り向く」

エントウラ en=tura 「私を連れて行く」



♪うたってみよう(5)～ からだのうた (しずかなこはん)～♪

①	♪	パケ エトウ シキ チャロ		
		pake etu siki caro		
		あたま はな め くち		
	♪	キサラハ ナヌフ		
		kisaraha nanuhu		
		みみ かお		
	♪	オトピヒ レクチ		
		otopihi rekuci		
		かみのけ のど		
	♪	テケヘ ホニヒ		
		tekehe honihi		
		て おなか		
	♪	コッカパケ ウレアサマ		
		kokkapake ureasama		
		ひざ あしのうら		
	♪	チキリ オソロ		
		cikiri osoro		
		あし おしり		

②	♪	ヤトウポキケ シットケウエ		
		yatupokike sittokewe		
		わきのした ひじ		
	♪	アシケペチ アミヒ		
		askepeci amihi		
		ゆび つめ		
	♪	テッコトロ ペンラム		
		tekkotoro penramu		
		てのひら おないた		
	♪	パルンペ イマキ		
		parunpe imaki		
		した は		
	♪	ランヌマ ハンク		
		rannuma hanku		
		まゆげ おへそ		
		イッケウエ セトウル		
		ikkewe seturu		
		こし せなか		

りんしょう ゆうめい こはん もり つか しんたいめいしょう かし うた つく  
 \* 輪唱で有名な「しずかな湖畔の森のかけから」のメロディーを使って、身体名称を歌詞にした歌を作りました。

かし つか こ しずないちほう ことば つか  
 \* 歌詞に使われているアイヌ語は、**静内地方の言葉**を使っています。

からだ たの ゆび うた  
 \* 身体のおちこちを指さしながら、楽しく歌いましょう。

(アイヌ語詞：北原次郎太)

がっ かんしゃ  
2月 カムイに感謝をする

アイヌの大きなお祭りのひとつに、イオマンテ(イヨマンテ)という行事があります。おおぜいの人が集まって、人間の世界にやって来た動物のたましいを、神さまの世界に送り帰します。

フチアペ オルン エカシ オンカミ。

huciape or un ekasi onkami.

火の神 所 へ おじいさん 拝む

「おじいさんが火の神様へ拝礼する」

\* オウウン「のところへ」はひとまとまりに発音してオルンとなります。



ユポ チロシ エアク。

yupo ciroshi eak.

兄 花矢 射る

「兄さんが花矢を射る」

\* チロシは東静内の佐々木オベリクンさんの言葉です。

「コタン探訪帳」(更科源蔵氏のノート) No.5 より引用しました。

ウクラン クモコロ カ エアイカプ。

ukuran ku=mokor ka eaykap.

昨夜 私が・眠る も できない

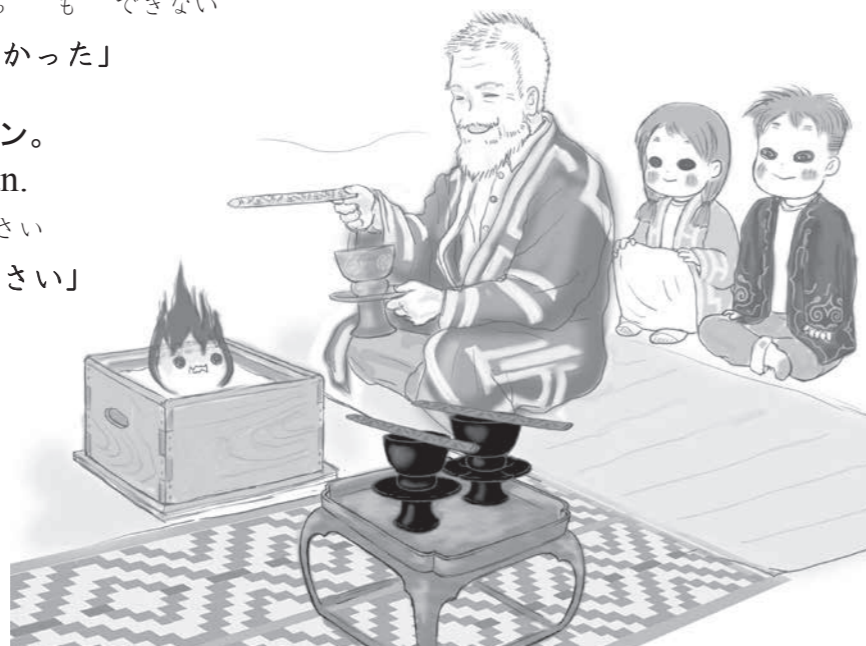
「昨日の夜は眠れなかった」

スイ シネウパ ヤン。

suy sinewpa yan.

また 訪問する なさい

「また遊びに来て下さい」



覚えよう～お祭りに使う言葉～

ヤイライケ	yayrayke	「感謝する」
ヌサ	nusa	「戸外の祭壇」
ロルンプヤラ	rorunpuyar	「上座の窓」

練習

クモコロ カ エアイカプ。

ku=mokor ka eaykap.

私が・眠る も できない

「私は眠れなかった」

「私が眠る」の部分に他の言葉に置き換えて「私は～できなかった」と言ってみましょう。

クホプニ ku=hopuni 「私が起きる」

クシノツ ku=sinot 「私が遊ぶ」

クスケ ku=suke 「私が料理する」



解説～神さまを送るお祭り～

アイヌの考えでは、多くの動物は神さまであるとされます。それらの動物は、人間の世界では動物のかつこうをしていますが、神の住む世界では人間と同じように暮らしているのだといひます。

人間は、動物のかつこうをして人間の世界に遊びに来た神さまのたましいを、神の住む世界に送り帰すために、いろいろな儀式をおこないます。

生まれて間もない子グマを育てて、一定の時期が来たたらそのたましいを送り帰す儀式、祭りを一般的にイオマンテ(イヨマンテ)といひます。

火の神をはじめさまごな神々の力を借りて、子グマのたましいが無事に神の国に戻れるようにお祈りをします。子グマには、たくさんのみやげを持たせて、「神の国でしばらくお休みになったら、また人間の世界に遊びに来て下さい」と、お願いします。男の人たちは飾りのついた矢(一般に「花矢」といひます)で子グマを射て、そのまわりを女の人たちが輪になって踊ります。この祭りは、アイヌの儀式の中でも盛大におこなわれるものの一つで、何日もの間、夜遅くまで続きます。

子グマのたましいは、無事に神の世界に戻ったら、たくさんのみやげにかこまれながら、人間のもとをまたいつか訪ねようと思えるのだそうです。

3月 子グマを授かる

寒さがゆるんでヒグマが冬眠から目覚める頃に山猟をすると、母グマと一緒に生まれたばかりの子グマを捕獲することがあります。このことは、アイヌの暮らしの中では神さまから子グマの飼育を任されたと受け止められ、たいへん名誉なことだと考えられてきました。

ミチ、エノン エオマン シリ タ アン？  
 mici, enon e=oman siri ta an?  
ちちおや どこへ あなたが・行く ようす 様子 か ある  
 「お父さん、どこへ行くの？」

エキムネ クス キム タ クオマン。  
 ekimne kus kim ta ku=oman.  
やまに わたしが・行く  
 「山に猟に行くんだ」

クアニ カ クオマン ルスイ。  
 kuani ka ku=oman rusuy.  
わたし も わたしが・行く したい  
 「僕も行ききたいなあ」

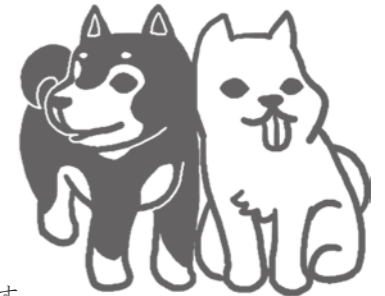
ポン ヘペレ ソンノ ピリカ。  
 pon heper sonno pirka.  
ちいさい ミ子グマ ほんとうに よい  
 「子グマはとてもかわいい」



覚えよう～「小さな」の言い方～

ポン	ヘペレ	pon heper	「小さな子グマ」
ポン	チカプ	pon cikap	「小鳥」
ポン	チェプ	pon cep	「小魚」
ポイ	セタ	pon seta	「小犬」

\* ポン「小さい」は、セタの前では、ポイという発音にかわります。



練習

クアニ カ クオマン ルスイ。  
 kuani ka ku=oman rusuy.  
わたし も わたしが・行く したい  
 「僕も行ききたいなあ」

「私が行く」の部分<sup>わたし</sup>を他の言葉<sup>い</sup>に置き換えて「私も～したい」と言ってみましょう。

ケラアンペ クエ keraan pe ku=e 「私がおいしいものを食べる」  
 クシネウエ ku=sinewe 「私が遊びに行く」  
 クシノツ ku=sinot 「私が遊ぶ」



これまで学んできた表現の中に、「ク ku=」と「エ e=」という言葉がいくつも出てきます。「ク ku=」は、日本語で「私が(私の)」、「エ e=」は「君が(君の)」という意味です。

アイヌ語では、「食べる」「飲む」「遊ぶ」など、自分が何かをする場合には、「～する」という意味のアイヌ語の前に、必ず「ク ku=」という言葉をつけます。

例えば、「私は外で遊んだ後にお菓子を食べて、それから水を飲んで寝た」という文をアイヌ語にしようとする、「遊んだ」、「食べて」、「飲んで」、「寝た」の4つをアイヌ語にしてから、4つ全部に必ず忘れずに「ク ku=」を付けます。これはアイヌ語の大事な決まりごとのひとつです。

詳しいことは『初級編』で、また勉強しましょう。

☆12ヵ月の月のなまえ☆

アイヌ語による月の言い方を紹介します。地域によって言い方に違いがあります。

4月	(静内) (白老) (十勝)	シキウタ キウタチプ	sikiwta kiuta	「キユを掘る月」
5月	(静内) (白老) (十勝)	モマウタ シキウタチプ	momawta mo-kiuta	「小さいキユを掘る月」
6月	(静内) (白老) (十勝)	シマウタ モマウタチユブ	simawta siuči čup	「ハマナスの実をとる月」
7月	(静内) (白老) (十勝)	モニヨラク シマウタチユブ	moniyorak muči čup	「木の葉が枯れる月」 「ハマナスの熟する月」
8月	(静内) (白老) (十勝)	シニヨラク モニヨラク	siniyorak sinihorak	「すっかり葉がかれる月」 「木の倒れる月(落葉月)」
9月	(静内) (白老) (十勝)	ハブラブ シニヨラク	haprap yarui	「葉が落ちる」 「網の盛んな月」
10月	(静内) (白老) (十勝)	ウレポク ウレポク	urepok urepok	「鮭漁に出て足の裏に砂がつく」 「足裏の月(霜を踏む月)」
11月	(静内) (白老) (十勝)	スナンチュブ シネアンチブ	sunancup sunani čup	「松明の明りで鮭をとる月」 「松明による川漁の月」
12月	(静内) (白老) (十勝)	クエカイ クイカイ	kuekay turup	「仕掛け弓が凍って折れる」 「？」
1月	(静内) (白老) (十勝)	イノミツブ(トゥルブ) チウルブ	inomicup(turup) toetanne	「神に祈る月(急流も凍る月)」 「日が永くなる月」
2月	(静内) (白老) (十勝)	トエタンネ トイタンネ	toetanne haprap	「日が長くなる」 「黒百合塊茎を掘る月」
3月	(静内) (白老) (十勝)	モキウタ ハブラブ	mokiwta huekai	「弓による山狩の月」

\* 静内方言の月名は『平成6年度アイヌ無形民俗文化財記録刊行シリーズⅧ アイヌのくらしと言葉4』(北海道教育委員会, 1995年)の葛野辰次郎さんの言葉から引用しました。ただし、日本語訳は同書の内容を要約してつけたものです。これは旧暦に基づいた月名です。

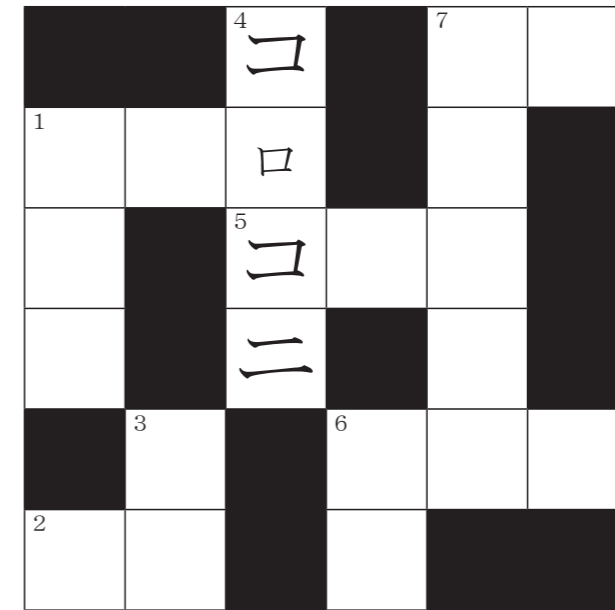
\* 白老方言の月名は、山本祐弘『樺太アイヌ・住居と民具』(相模書房, 1970年)から引用しました。

\* 十勝方言の月名は、吉田巖『杖のみたま』(『民族学研究』19巻3/4号, 1956年)から引用しました。現在とはアイヌ語の表記が違いますが、そのままの形で掲載しています。

千歳のことばでつくったクロスワードパズルを解いてみよう。

☆タテ

- お父さんのお父さんのことはなんて言うかな？
- 〇〇になると雪がふって、とってもさむいんだ。
- 〇〇を持った小人のことをコロポックルっていうんだよ！
- 土の中にある小さくてまるいたべものだよ。
- サケをとったら、冬にそなえてたくさん作っておこう。



★ヨコ

- カゼをひくとグズグズ出ちゃうよ。
- 海へ行って〇〇の上をあるくのは気持ち良いなあー！
- これがないと冬の日の外は頭がさむくて歩けないよ。
- 〇〇がふってきたから、濡れちゃう前にいそいで帰ろう！
- 暑くてたのしい季節！〇〇！



☆☆正解はいちばんうしろのページにあるよ☆☆

■クロスワードの正解 せいかい

	コ		サ	ク
エ	ト	ロ		ッ
カ		コ	ン	チ
シ		ニ		エ
	マ		ア	プ
オ	タ		ハ	

しずないのアイヌご

---

発行年月 2012年3月

発行 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001

北海道札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7 5階

TEL (011)271-4171 FAX (011)271-4181

URL <http://www.frpac.or.jp> E-mail: [ainu@frpac.or.jp](mailto:ainu@frpac.or.jp)

印刷 株式会社美巧製版

---